

KUMADAI NOW

熊大なら。 Spring 2011
熊大通信特別号

知っ
てお
き
たい、
熊大
の
コ
ト
と
じ
ぶ
ん
の
コ
ト。
。

生きることは行動することです。
行動するということは経験を積むということです。

経験は人をつくります。

人は国をつくり、社会を支えます。

けれども、その経験を本人がどう意味づけるかによって

経験が人を活かすかどうかが決まります。

4年間の大学生活の経験は、かけがえのない貴重な経験です。

それを活かせるかどうかはあなた次第です。

およそ20年を生きてきたあなた、よくがんばりました。

残り60年ないし80年という時間を、真に豊かなものにしたいですね。

わたしたちはこの冊子を、あなたが大学生活を充実させるうえで参考となるように企画しました。

学部紹介、学生支援のしくみ、進路事情、熊大の歴史など盛り込んでいます。

どうか最後まで読んでください。



←薬学部はこのあたり

↑
医学部と
附属病院

郷土のデパート→

↑
子飼橋

工学部→

理学部→

↓
全学
教育棟



contents

- 3 INTERVIEW 学部紹介
- 11 在学中の 使える! 便利な学生支援
- 13 「進路」を考える。
 - キャリアは就活の第一歩
 - ここから始まる“自分軸”づくり
 - 学部卒業生の進路DATA
 - column「時間と行動」
 - 「大学院で学ぶ」という選択
 - 大学院修了生の進路DATA
- 23 熊本大学の歴史
- 28 KUMADAI DATA



INTERVIEW

熊本大学には7つの学部があります。
同じ大学にしながら、意外と他学部のことについて、知らないままに
卒業してしまう人も多いことでしょう。
そこで熊本大学の学生サークルの一つ、
知る人ぞ知る「熊大広告 KumAnd」の協力を得て、
インタビューによる学部紹介を企画しました。

取材協力「熊大広告 KumAnd」

熊大広告 KumAndは、熊本大学関連のイベント企画や広告物などを
制作・発行するサークル団体です。「人と人をつなぐ」という理念のもと、
日々活動しています。提供する情報や、主催する企画がきっかけとなり、
さまざまな人とのつながりができたと言ってもらえる、そんなサークルを
目指しています。

学生のためのホームページも運営していますので、ぜひのぞいてみてくだ
さいね。部員も常時募集中!

熊大WEB <http://kumadai.org/>

INTERVIEW

01 文学部

文学部には「文学科」の他、「歴史学科」「総合人間学科」と、平成17年に設置された「コミュニケーション情報学科」の4学科があります。

人間の知性や感性、そこから生まれる倫理や文化、社会など、人間に関する全てのことを追究する「総合人間学科」は、文学部の中でも特に研究領域が広く、「人間科学」「社会人間学」「地域科学」の3つのコースに分かれています。一つのテーマについてさまざまなアプローチで考察するため、多角的に物事を捉えられるようになるそうです。普段の生活でも“常識”を鵜呑みにせず、常に再検討するという習慣が身に付くといいます。

過去に起こった、または現在起こっている事象とその意味を追究するのが「歴史学科」です。コースは日本史学・考古学が含まれる「歴史資料学」と、アジア史学・西洋史学・文化史学が含まれる「世界システム史学」の2つに分かれています。文献調査はもちろん、歴史資料学では発掘などのフィールドワークを通して、身を持って歴史を体感する機会もあります。日頃から歴史を研究していると、日常の出来事に“過去があってこそこの現在”と感ずることがあるそう。歴史を深く学ぶにつれて、「過去は現在を形づくるものである」という、過去を追究する根拠が分かります。

私が在籍する「文学科」には、文学作品や作家を研究する「文学研究」と、言語そのものを研究する「語学研究」があります。コースは「東アジア」、「欧米」、そして国を問わずさまざまな文学作品や言語を総合的に研究する「超域言語文学」の3つ。教科書で歴史を学ぶよりも、文学作品を通じた方が、作家の生きざまや当時の世の中のあり方、そこで生きる人々の姿をありありと感ずることができます。自分自身の考え方や生き方の視野も広がります。

「コミュニケーション情報学科」は、文学部には珍しく、実践的な印象があります。コミュニケーションやメディアといった時代の最先端を研究対象にしている、「情報・メディア論」と「英語コミュニケーション」と、履修モデルは2つ。授業ではグループ発表が多く、人前で発言する能力やプレゼン技術などの実践的な力が身に付くそうです。学年を越えたつながりも強く、学生企画やイベントもたくさんあります。

総合人間学科2年の石井美咲さん。この日は心理学のノートを見せてくれました



授業で習ったことを、実際のコミュニケーションで生かせることも多いそうです

取材に協力していたが、歴史学科2年の大塚奈歩さん



自分たちで企画して地域の方と楽しみながら学ぶことも

文学部学生定員（人）

	入学定員	総定員
文学科	50	200
歴史学科	35	140
総合人間学科	55	220
コミュニケーション情報学科	30	120
(学部共通)		20
文学部 学科合計	170	700

Interviewer



私が取材しました！

亀田 里奈 Rina Kameda

文学部 文学科 3年



美術科では2010年、神社の文化財補修にチャレンジ！初めてで大変だったけれど、学内だけでは不可能な、貴重な体験ができました。



教育学部といえばつまものなの教育実習。子どもに教える難しさや楽しさを実感できる瞬間です。



ベテランの先生や学生を前に、研究発表を行うことも。

私が取材しました！

Interviewer

藤田 美帆 Miho Fujita

文学部 コミュニケーション情報学科 3年



教育学部には「小学校教員養成課程」「中学校教員養成課程」の他、「地域共生社会課程」、全国で唯一の「生涯スポーツ福祉課程」があります。

「小学校教員養成課程」では、小学校の教員免許を取得するために、国語や音楽など小学校で教える教科を幅広く勉強します。2年次からは副専攻の教科を選択しますが、その教科では、中学校や高校の教員免許を取得することが可能です。3年生の木原愛世さんの副専攻は「社会科」で、地理や歴史公民などを勉強しているとのことでした。2年生の間に専門分野のゼミの授業を受けて、3年次からの進路を決めるそうです。

主に専攻の科目を勉強する「中学校教員養成課程」は、専攻を深めるか、教育方面に進むか、3年次のゼミで決まります。この春卒業された大塚久生さんは専攻が数学のため、専門である数学と、数学教育の指導法を中心に勉強したそうです。中学校の教員免許だけではなく、高校、さらに各学期に開講されている特定の授業を受けることで、幼稚園の教員免許も取得できるのだとか。

通称「スポ福」と呼ばれる「生涯スポーツ福祉課程」は、スポーツや運動を通して福祉に貢献できる人材を育成するという、全国で唯一の学科です。3年生の地原理恵さんは、教員免許や社会福祉士の免許、さらに健康運動実践指導者の免許を取得することを目標に毎日頑張っていると話してくれました。学科全体でスポーツ大会をよく開くなど、縦のつながりが強い学科のようです。

「地域共生社会課程」では、地域教育やまちづくり、生命倫理など、幅広い分野を勉強し、卒業後は公務員や企業、教員など多方面に就職しています。3年生の長田奈穂さんは、まちづくりの授業では地域の消防団の調査、生命倫理の授業では動物の権利などを学んだとか。教職の選択は2年次に決まりますが、教職を選んだ人は社会と英語、さらに家庭科の教員免許を取得することができそうです。学科の雰囲気はとてもアットホームで、先生方とも仲の良い学科ということでした。

教育学部学生定員（人）

	入学定員	総定員
小学校教員養成課程	110	440
中学校教員養成課程	70	280
特別支援学校教員養成課程	20	80
養護教諭養成課程	30	120
地域共生社会課程	20	80
生涯スポーツ福祉課程	40	160
教育学部 学科合計	290	1,160

INTERVIEW

02

教育学部

03 法学部



講義室での授業風景。記憶することですが、理論立てて理解することが重要なのだそうです。



とある研究室の本棚を拝見。難しそうな法律の本が並びます。

法学コースでは、過去に起こった実際の事件などを取り上げて学びます。



Interviewer



私取材しました！

池田 桃子 Momoko Ikeda

理学部 理学科 2年

法学部は、1学科2コース制。

ここでは法律を学ぶのが主ですが、将来、法曹関係を目指す人だけではないようです。

2年次までは、民法、憲法、刑法といった大きな枠組みで基礎知識を学ぶ法学部。「1、2年生の授業は大事よね」「履修登録してないけど1年生に混ざって授業を受けることもあるよ」という声が出るほど、この時期に学ぶ基礎知識は重要です。また、テストはほとんどが記述式で、本当に理解していないと解けない問題ばかり。穴埋め問題もあるようですが、埋めなければならない穴は200問もあるのだとか。

3年次では「公共政策コース」と「法学コース」に分かれ、「法学コース」はさらに「アドバンスト・リーガル・クラス」と「ベーシック・リーガル・クラス」に分かれます。「公共政策コース」は行政や地域政策、現代政治、比較行政制度論などについて学び、将来は**県庁や国税局、市役所**など公務員を目指します。「アドバンスト・リーガル・クラス」は**弁護士や裁判官、検察官**といった法曹関係、「ベーシック・リーガル・クラス」では、**債権や経済、民事訴訟法**などについて学び、将来は企業などへの就職が多いそうです。

3年次には講義内容も深まり、ゼミでは、「裁判制度」や「死刑」などについて議論をするそうです。法学部の場合、研究室に入るのではなく、数人で議論をするというゼミ形式です。ゼミによっては卒論が課されることもありますが、基本的には卒論はありません。また、公務員講座(本学のキャリア支援ユニットと生活協同組合が主催)は3年次の5月から始まり、夜の6時から9時までが授業時間。法学部の公務員の合格率は高く、公務員講座の参加者・合格者の約半数は法学部の学生です。

インターンシップも3年次の夏休みを中心に行われていて、企業や県庁などで約1週間、職場体験をします。弁護士事務所でインターンシップを経験した溝上さんは「インターンシップは大切。働いたことをレポートに書いて提出すると単位にもなるし、何より良い経験ができます」と話していました。

法学部学生定員(人)

	入学定員	総定員
法学科	210	840
(学部共通)		20
法学部 学科合計	210	860

INTERVIEW

熊本大学の理学部は、他の大学とは違って「理学科」しかありません。多様化した時代の中、一つの専門性に偏らず幅広く勉強して、経験を生かすためという狙いがあります。

1年次には、化学・生物・物理・地学・数学など専門科目の基礎を学ぶと同時に、化学・生物・物理・地学の基礎実験も行います。他の学部と比べると1年次の時から大変なように感じますが、この1年次の講義や実験が将来役に立つのです。「生物プログラム」の大学院2年の先輩は、「生物でも、地学や物理の知識が助けになる」と話します。

2年次になると、3年次で進みたいプログラムのことを考えながら講義を選択。「化学プログラム」3年の先輩が「化学と生物、どちらのプログラムに進むか悩んでいたが、2年次の授業を受けていく中で、化学に決まった」と話すように、この基礎の授業は3年次のプログラム選択に大きく関わってきます。「2年次に自分と波長が合う教科を見つけて、プログラム選択をしてほしい」と古島理学部長も話します。

「数理科学プログラム」「物理プログラム」「化学プログラム」「地球環境プログラム」「生物環境プログラム」に分かれて、本格的に専門分野を学ぶのは3年次から。例えば「数理科学プログラム」では、代数学や幾何学、確率論などを学んだり、太陽を周る地球の軌道に関する力学系の研究もあるそうです。「物理プログラム」では力学、電磁気学、量子力学などが研究の対象。「化学プログラム」では、講義と実験を通して化学の基礎を学んだり、環境中の物質について研究する環境分析化学といった研究もあります。「地球環境プログラム」では、自然科学のあらゆる分野について、また「生物環境プログラム」では、遺伝子やDNAといったミクロの世界から、生態系の多様性といったマクロの世界まで幅広い研究を行うそうです。

就職は幅広い企業に進むことができ、「将来についてはコースに入ってから考えて大丈夫です。まずは、自分の興味があることを楽しんでください」と、先輩は話していました。

シダ植物の前葉体を発芽させて、人工的な掛け合わせの実験中



研究対象が幅広い理学部。教室によっては遺伝子研究なんかもやっちゃいます



年に一度の「夢科学探検」は、地域の子どもたちと触れ合う日。おもしろ実験でみんなを楽しませます。子どもたちも大喜び!



実験には、メダカにイモリ、トカゲ、マウスなどを使います



私が取材しました!

池田 桃子 Momoko Ikeda

理学部 理学科 2年

Interviewer



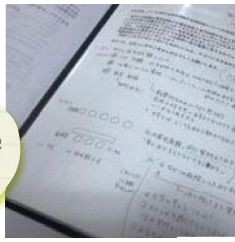
理学部学生定員(人)

	入学定員	総定員
理学科	190	760
理学部 学科合計	190	760



医学科5年 村瀬真さん

病院の就職採用試験に向けて、対策も万全！



平成22年9月に完成した、附属病院東病棟。設備もみんな新しくなって、実習にも役立っています



右から、保健学科3年
西村玲香さん、倉永優子
さん、河野真子さん

私が取材しました！

亀田 里奈 Rina Kameda

文学部 文学科 3年



Interviewer

05 医学部

INTERVIEW

医学部には、医師や医学者になるための「医学科」と、看護学・放射線技術科学・検査技術科学が含まれる「保健学科」があります。

「医学科」は専門の必修科目が多く、ほぼ毎日朝から夕方まで授業があり、春休みや夏休みも他学部より1カ月短いそうです。特に大変な授業が解剖。授業時間内に終わらず夜中や土日までかかったりすることもあるのだとか。遺体を扱うので精神的にもこたえ、初めての解剖のときは失神してしまう人もいます。

理系として分類されている「医学科」ですが、暗記の勉強が多く、また数学や物理・化学より英語力が必要など、むしろ文系の学問のように感じるそうです。浪人を経たり、大学や会社を辞めて入ってくる人も多く、学生の年齢層が幅広いのが特徴です。そのぶん、勉強のことに限らずいろいろな考えを知ることができ、良い刺激になるといいます。

「保健学科」では、看護学専攻の学生に話を聞きました。病院実習では、特に患者さんの看護の目標や計画を立てる“看護計画”を組むのが大変で、寝られない日もあるほど。また、患者さんとのコミュニケーションなど、授業で習うだけでなく実践でしか分からないことも多く、上手にできることよりも、その人なりのやり方を見つけることが重要なようです。

授業や実習ではいろいろな人と班を組むことが多く、活動を通して全員

が仲良くなるのだそうです。資格を取るという明確な目的があって勉強しているため、その分厳しい部分もありますが、一緒に頑張る仲間のおかげで大変な勉強も乗り越えられるそうです。

実習として社会に出ることも多い医学部の学生さんたち。外では“一人前の社会人”として扱われるので、周囲への細かい気配りができるようになり、責任感が身に付いたといいます。

医学部学生定員（人）

	入学定員	総定員
医学科	115	640
保健学科	144	576
（保健学科共通）		32
医学部 学科合計	259	1,248

Interviewer



私取材しました！

高石 あすか Asuka Takashi

理学部 理学科 2年



薬学部キャンパスにある「模擬薬局」。ここで、薬剤師となる素質があるかどうかの試験も行われるそうです

模擬薬局の中に入ると、まず目につくのがカウンターのような場所。奥には人形が寝かされています



薬学部らしい、いろいろな名前が書かれたビンが棚にたくさん並んでいます

右から「薬学科」4年古庄弘和さん、「創薬・生命薬科学科」3年小山皓介さん、坂口由起さん、「薬学科」3年如田真貴さん



キャンパス内にある「薬用資源エコフロンティアセンター」。植物には一つプレートがあり、植物名だけでなく効用なども書かれています

06 INTERVIEW

薬学部

薬学部には6年制の「薬学科」と4年制の「創薬・生命薬科学科」の2学科があります。薬学部について話を聞くために、4人の学生に取材しました。

薬学部は、2006年4月から「薬学科」と「創薬・生命薬科学科」の2学科に分けられました。6年間の一貫教育で薬剤師養成を目指す「薬学科」と、研究者養成を目的とした「創薬・生命薬科学科」。この2学科は、**研究室へ入る時期**が大きく違います。「創薬・生命薬科学科」は3年次になってすぐ研究室へ入り、「薬学科」は3年次後半に入ります。そして「創薬・生命薬科学科」の学生はそのほとんどが大学院へと進学し、3年次から配属された研究室でさらに研究を続けていくそうです。一方「薬学科」は、6年次で国家試験を受けます。

学生からみた2学科の違いを分かりやすく言うと、「薬学科」は**薬を「使う」**側であり、「創薬・生命薬科学科」は**薬を「つくる」**側という立場の違いです。1年次は薬局と病院の違いなどを学ぶために外へ出ていく実習、2・3年次は生物学の解剖、物理学の分析などさまざまな実験があります。また、3年次で自分に合った研究室を選ぶよう、研究室の雰囲気味わえる実習などもあるそうです。

学科は二つに分かれているものの、1・2年生のうちは授業もほとんど共通なので学科の壁はあまり感じません。また、3年生になって研究室に配属されると先輩から教えてもらうことが多いので、縦のつながりも深いそうです。

最後に、卒業後の進路について伺いました。2学科に分かれてから間もないため1期生はまだ卒業していませんが、「薬学科」は薬剤師の他、製薬企業への就職や、進学を希望する人もいます。一方で「創薬・生命薬科学科」はほとんどが大学院へ進学、1期生はまだ大学院を終えていませんが、**研究者**として製薬などの企業への就職を考えている人が多いそうです。

125年以上の歴史を持つ熊本大学薬学部。黒髪キャンパスで学んでいる私にとって、大江キャンパスの薬学部は馴染みのない所でしたが、今回の取材で少し距離が縮まったような気がします。

薬学部学生定員(人)

	入学定員	総定員
薬学科	55	330
創薬・生命薬科学科	35	140
薬学部 学科合計	90	470

工学部は、「物質生命科学科」「マテリアル工学科」「機械システム工学科」「社会環境工学科」「建築学科」「情報電気電子工学科」「数理工学科」の七つの学科に分かれ、“モノづくり”に関する知識や技術を学んでいます。

工学部は、地域産業と連携して研究や開発を行うことが多い学部です。2003年に学内で開発された「KUMADAIマグネシウム合金」は、金属などの材料を研究する「マテリアル工学科」によるもの。マグネシウムは、私たちの身近なところでは、パソコンや携帯電話などのフレーム、自動車の部品などに広く使われています。「KUMADAIマグネシウム合金」は、今までの合金に比べてとても軽量で、耐熱性や強度に優れており、国内外の熱い視線を集めています。今はその性質を生かして、**自動車**で実用化が進められています。

「社会環境工学科」と「建築学科」は、九州新幹線全線開業に向けた「熊本駅周辺整備基本計画」に参加。熊本駅周辺を一つの空間として捉え、熊本の文化を残しながら、建物や道路、水や緑などの空間要素をデザインする役割を担っています。駅前広場は、坪井川の古い石塘（ども）や旧取水堰をできるだけ残した、熊本の水文化に触れるスポットとして着々と整備が進められているようです。

工学部は、**学科の枠を越えて**プロジェクトに取り組んだり、合同ゼミを行ったりと、人間同士の結び付きが強い学科。勉強以外にも、工学部ならではの「運動会」があります。徒競争や、障害物競走、フォークダンス、綱引きなどの定番種目に加え、○×クイズのようなユニークな種目も行われています。工学部の学生が企画し、準備し、運営し、参加するイベントだけにとても盛り上がり、工学部の**団結の強さの原点**となっています。

工学部学生定員（人）

	入学定員	総定員
物質生命化学科	80	320
マテリアル工学科	46	184
機械システム工学科	97	388
社会環境工学科	71	284
建築学科	56	224
情報電気電子工学科	153	612
数理工学科	10	40
（学部共通）		90
工学部 学科合計	513	2,142



「ものくり工房」でつくられたソーラーカーは、鈴鹿で行われたレースにも参加！



「KUMADAIマグネシウム合金」の展示in東京。分がりやすい展示物は、小さな子どもたちにも好評だったようです。

黒髪南キャンパスにある「ものくり工房」。他学部の学生でも一定の条件を満たせば利用可能な制作室です。



JR熊本駅前開発の模型は学生たちの手づくり。模型づくりってなんだが楽しそう！

私取材しました！

小原 友恵 Tomoe Kohara

理学部 理学科 2年

Interviewer



在学中の

使える! 便利な学生支援

要チェック!

奨学金制度

奨学金制度としては、次のようなものがあります。

●日本学生支援機構奨学金(貸与)

日本学生支援機構は「独立行政法人日本学生支援機構法」に基づき設立された、国の育英事業を実施している機関です。優れた学生で、経済的理由により修学が困難な者に対し、学資の貸与を行うことにより、教育の機会均等に寄与することを目的としています。

日本学生支援機構の申込資格は人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により修学困難な場合となっています。受給するには、本人の申し込みにより選考の上、奨学金が貸与されます。

なお、募集は、毎年1年次および2年次以上ともに4月にあります。無利子のものと有利子のものがあり、それぞれ決められた金額(月額)を選ぶことができます。詳しくは日本学生支援機構のホームページを参照してください。

●その他の奨学金

日本学生支援機構の他、財団、地方公共団体等の奨学団体があります。

申し込み方法、募集時期は各奨学団体により異なりますが、年度初め(5月頃)に募集が集中していますのでご注意ください。

なお、募集が届き次第各学部などへ掲示しますのでご確認ください。

奨学金募集等の詳細については、各奨学団体等のホームページで確認することもできます。また、大学に案内が来ない場合もありますので、都道府県や市町村へ直接照会してください。

※問い合わせ先:学務ユニット(経済支援担当) TEL.096-342-2125



各種奨学金募集関係一覧(平成21年度)

設置者	団体名	貸与・給付	月額(円)
都道府県	熊本県育英資金	貸与	25,000
	宮崎県育英資金	貸与	44,000~50,000
	富山県奨学金	貸与	45,000~51,000
市町村	熊本市奨学金	貸与	42,000
	財団法人 宮崎県奨学会	貸与	25,000
	財団法人 長崎県育英会	貸与	35,000~41,000
公共法人	財団法人 沖縄県人材育成財団	貸与	40,000~45,000
	財団法人 鶴友奨学会	貸与	30,000
	財団法人 あしなが育英会	貸与	40,000~50,000
	財団法人 壽崎育英財団	給付	10,000
	財団法人 帝人奨学会	貸与	100,000
	財団法人 中村積善会	貸与	40,000
	財団法人 吉田育英会	貸与	80,000
	財団法人 河内奨学財団	給付	40,000
	財団法人 内村チカ育英財団	給付	30,000
	財団法人 日揮・実吉奨学会	貸与	30,000~45,000
	財団法人 岡田甲子男記念奨学財団	貸与	46,500
	財団法人 日本通運育英会	貸与	15,000~20,000
	財団法人 山口県ひとづくり財団	貸与	43,000
	財団法人 交通遺児育英会	貸与	40,000~100,000
	財団法人 電通育英会	貸与	40,000
	財団法人 松藤奨学育英基金	貸与	42,000
	財団法人 原田記念財団	給付	22,000・33,000
	財団法人 日鉄鉱業奨学生	貸与	15,000~30,000
	財団法人 北野生涯教育振興会	給付	年額150,000
	公益信託池田育英会トラスト	給付	17,000
	ヤマハ熊本プロダクツ	給付	30,000

学生寮

場所は黒髪キャンパスから東に約1.5km。県道337号沿いです。男子A・B棟と女子寮があり、各棟とも5階建て、全室個室で広さは10㎡。共通棟にはロビーおよび浴場があり、各階には談話室、捕食室、洗面および洗濯室、トイレがあります。食堂は設置されていませんが、捕食室を利用して自炊することができます。

寄宿舎	定員	入居対象者	入居期間	経費
男子A棟	100人	学部学生および 学部留学生	最短修業年限内	(寄宿料) 月額4,300 (光熱水費) 月額6,700程度
男子B棟	100人			
女子寮	80人			

生協関係

生協では、購買の他、下記の取り扱い窓口業務も行っています。

- 卒業式 袴や晴着のレンタル
- アパート等の紹介
- アルバイトの紹介
- 英検、TOEICなどの各検定の申し込み受付
- ミールカード(生協食堂年間利用定期券)販売

入学科・授業料免除制度

国立大学の入学科・授業料免除制度をご存知ですか？文部科学省が定めたこの制度は、学生の成績や経済的理由などによって、入学科や授業料を全額または半額免除するといふものです。また、家計を支える家族が風水害などの災害を受け、授業料の納入が困難である場合にも免除認定の対象となります。

授業料免除の申請と審査は、前期・後期の2度に分けて行っています。平成21年度は、学部生・院生合わせて延べ2,614名が授業料免除の申請を行い、そのうち285名が半期分の授業料の全額免除（前期・後期それぞれ267,900円）、1,729名が半額免除となり、申請者の約77%の方を支援することができました。このほか、入学科の免除、別科・専攻科の授業料免除も合わせると、その総額は約3億2千万円にもなります。

本学では毎年2回の授業料免除のガイダンスを行い、この制度の周知を図っています。また、新入生を対象に、申請の案内も行っています。入学科・授業料の免除制度については、「熊本大学 授業料免除」で検索、または学生支援部学生ユニット（学生支援担当）TEL.096-342-2126 へお問い合わせください。

平成21年度 入学科・授業料の免除人数と免除額

区 分	入学科(円)	申請者(人)	全額免除(人)	半額免除(人)	免除額合計(円)
学 部	282,000	5	2	0	564,000
大学院	282,000	187	0	69	9,729,000
区 分	授業料(円)	申請者(人)	全額免除(人)	半額免除(人)	免除額合計(円)
学 部	前期 267,900	857	146	470	102,069,900
	後期 267,900	930	61	659	104,614,950
大学院	前期 267,900	420	64	267	53,446,650
	後期 267,900	407	14	333	49,093,575
別科、専攻科	前期 136,950	7	0	4	273,900
	後期 136,950	3	0	2	136,950

※大学院には、法曹養成研究科(授業料年額:804,000円)を含む

交換留学制度

熊本大学は海外の諸大学と学生を相互に派遣する学生交流協定を結んでおり、1年以内の留学で修得した単位を熊本大学の単位とすることができます。取得単位によっては留年せずに卒業が可能です。留学中も熊大に授業料を納める必要がありますが、留学先での入学科、授業料は必要ありません。

交換留学には2つのタイプがあります。

- (1) 全学部生を対象として学生交流協定を締結した海外の大学へ留学する場合（大学間交流協定）
- (2) 各学部が学生交流協定を締結した海外の大学へ留学する場合（部局間交流協定）

(1)については国際戦略ユニット国際人材チーム(TEL.096-342-2133)が、(2)については所属学部の教務担当が窓口となります。また、毎年5月中旬ごろ、留学フェアや留学説明会を開催しています。



交換留学Q&A

Q1: 留学に興味があるけど、何をしたらいいですか？

A: 英語圏への留学には、必ずTOEFLスコアが必要です。TOEFL550点(PBT)、213点(CBT)を目指しましょう。

まずは、学内での TOEFL-ITP の受験をおすすめします。

モデルケースとしては、1年目でTOEFLの勉強を頑張る→2年目で応募→3年目で留学スタート！

Q2: 費用はどれくらいかかりますか？

A: 留学先の授業料は必要ありませんが、1カ月あたりの宿泊費、食費などの生活費が約8万円。航空券代を入れると1年間の留学費用は120万～150万円くらいです。(国によって異なります。)

Q3: 留学のための奨学金はありますか？

A: 交換留学のための奨学金には次のとおりです。各学部に通じますので掲示板を注意して見てください。

● 日本学生支援機構(JASSO)による短期留学推進制度派遣奨学金制度

奨学金支給額: 月額8万円 人数: 2～3名程度
支給期間: 6カ月以上1年以内の範囲で留学期間中

熊本大学国際奨学事業

- 本学学生の海外での学習・研究活動への参加を支援するために、奨学金が支給されます。
奨学金支給額: 1人あたり20万円程度 人数: 75名程度

Q4: 短期語学研修はありますか？

A: ニューカッスル大学(オーストラリア・春期2週間)、アルバータ大学(カナダ・夏期1カ月間)・フライブルク(ドイツ・9月からの約1カ月間)など、短期語学研修もあります。詳細については決まり次第各学部の掲示板にて通知します。

「進路」を考える。

就職氷河期は構造的なもの

もしかしたらきみは、再び景気が上向いてくれれば何とかなる、と楽観してないだろうか。このような楽観は幻想に過ぎません。グローバル化の進展の中で、日本の企業は景気に関わらず、会社の命運を賭けて新人採用の国際化を進め、外国人学生も含めて採用の厳選化を進めています。つまり就職氷河期は一時的なものではなくて、構造的な性格のもので、マニュアル頼りの小手先ではとても太刀打ちできないということです。

今、企業のみならず就活する学生も、その学生を教育する大学側も、今後何十年も続く世界のこの大きなうねりに対処する策を真剣に講じなければ、その状況を乗り切れないでしょう。きみは人材採用の厳選化を押し進める企業側の人材獲得戦略をどう突破すればよいのでしょうか。

この話、対人サービス提供の資格を取ろうとしている医学部(医学科、保健学科)、教育学部、薬学部などの学生にとっても無関係ではありません。なぜか?その答えはやがてきみが見つけることになるでしょう。

どのような人材が求められているか?

グローバル化の進展のなかで、企業側が求める人材像と学生の志向・対応のミスマッチ(mismatch)が指摘されています。企業が求める人材像は、一言で言えば、「国境を越えて働く意欲と高い専門性を持ったジェネラリスト(generalist)」です。

要は、一般教養知識も専門知識も大学でどれだけ貪欲に学び、教師や友(日本人学生・留学生)と議論をし、遊びや課外活動に熱中し、それらを通してどれだけ総合的人間力を培ったかが問われるのです。

企業と就活学生の認識ギャップ

今、企業側が学生に求めている資質は、グローバル化時代対応のそれです。重視される能力・資質は、意欲、コミュニケーション能力。まだあります。協調性、論理的思考能力も求められます。コミュニケーション能力



**Think about
your future.**

(特に外国語)の中には、実践的な英語力なども当然含まれています。強調点は企業によって異なるので、自分ともよく相談しておく必要があります。

近未来は、国籍問わずの人材活用時代

このように企業と就活の学生側のあいだに横たわるのは、明らかなミスマッチであり、このことが今の「就職氷河期」問題の背景にあります。グローバル化の大きなうねりを前に、積極的に海外展開しなければならない大手企業が、意欲、コミュニケーション能力、行動力、論理的思考能力などに疑問符がつく若者を果たして採用するでしょうか。実際、一部大手企業は国籍を問わず、海外の優秀な人材を採用する方向に舵を切り始めています。

就活する学生が、マニュアルに従って面接時にその場限りの「意欲」や「身だしなみ」を演じて、採用側の担当者は簡単に見抜いてしま

います。人材は企業の命運を左右するとあって、大手企業は総合的人間力という底力を真剣に判別しようとするはずで

「適度な楽観」がこれからの基本

危機感をあおるつもりはありません。「永い人生、山あり、谷ありだ。何とかなる、なるようになる」という心の余裕も大切です。

と同時に、若いきみ、根拠のない楽観は禁物です。「何とかなる、なるようになる」の心境の吐露は意を尽くし、手を尽くした後に出番を待つ言葉(達観!)。まずは、きみが未来を生き抜くためには、「備えあれば憂いなし」ということを肝に銘じておくことが必須です。

悲観と楽観の極端に走らず、悲観よりも楽観が適度に上回るくらいがよい。そして最後は、達観です。崩れず、折れず、転んでもただでは起き上がらない、というしぶとさできみの人生を生き抜くために。熊大はきみを応援しています。



キャリアは 就活の第一歩

キャリア (career) とは何だろう？

さて、ここに登場する言葉「キャリア」を広辞苑で調べると、いくつかの意味が出てきます。第一に「(職業・生涯の) 経歴」、第二に「専門的技能を要する職業についていること」、第三に「国家公務員試験一種(上級甲) 合格者で、本庁に採用されているものの俗称」とあります。ちなみに、すっかり定着している片仮名熟語の「キャリアウーマン」の方は、「熟練した知識や技術を持ち第一線で働いている女性」とあります。

他方、英英辞典ではcareerは次のように定義されています。

1. a job or profession that you have been trained for and intend to do for several years
2. the period or time in your life that you spend doing a particular activity

(Modern English Dictionary, Longman)

広辞苑の意味とLongmanの意味は、少しずれるところがあるのでまとめにくいのですが、本学が大学教育と社会との「**接続**」を鋭く意識して、学生の教育に取り組む姿勢を明確にするという観点からすれば、「**大学時代とその後の生涯学習などの経験の中で培われる専門的技能を伴った職歴**」という意味で捉えておきたい。職業は、きみの未来のアイデンティティ (identity) の形成と、きみ自身ときみの未来の家族を含めて生活の支えとなるはずのものです。大学で学んだこと、それを元に卒業後も学び続けたことが専門的技能の糧となるようなキャリアの準備を、今、熊本大学で始めてください。

自分のキャリア構想は、もちろん、これからの長い人生の中で何度でも書き換え可能です。書き換えながら**考え続けること**が大切なのです。

キャリアと大学生生活の意義

キャリアをこのような意味で捉えたとき、きみが熊本大学に在籍する4年間ないし6年間、あるいは大学院での数年間は、とても大きな意味を持つ時期なのです。長い人生を**どう生きたいか**、それをじっくり考え、また人生にとって仕事をすることはどういうことをじっくり考えたいものです。

Think about
your future.

熊大生の「自分探し」を支援する

キャリア支援ユニット

CAREER

本学の事務組織の一部署（黒髪北地区 全学教育棟A棟1階）に「キャリア支援ユニット」というのがあり、4人の職員が学生の就職相談やセミナーの開催など、さまざまな支援事業に取り組んでいます。キャリアのことなら、それに関する悩みも含めて何でもここに相談できます。

九州の国公立大学に先駆けて発足したキャリア支援課は2010年10月から、より組織機能が高めることを目標に、名称を「キャリア支援ユニット」へと変更しました。民間企業でのビジネス経験者などをスタッフに交え、「自ら動き自ら学ぶ 自分軸を持つ熊大生の育成」をテーマに、学内でさまざまな就職支援、キャリア形成支援の活動に取り組んでいます。

ここでは、民間大手就職情報会社出身のユニット長を含め、4人の担当スタッフが進路決定や就職活動のアドバイスをしています。また、じっくり相談できる専任の就職相談員も2人おり、毎日一人1時間での進路相談などを実施しています。社会経験豊富な相談員からのアドバイスは、学生に好評！ 学年を問わず、誰でも利用できます。相談には事前に予約が必要ですが、予約が入っていない場合は、当日でも相談可能です。



キャリアカフェへ行ってみよう

「キャリア支援ユニット」には、インターネットを自由に利用できるパソコンが設置しており、キャリアや就職に関する資料・雑誌なども閲覧可能です。その他、日々更新されている求人情報や学内外の就活イベント情報、ビジネス界の旬な話題も要チェック！

キャリア支援ユニットオフィス 利用時間
8:30～18:15（祝日・年末年始を除く月曜～金曜）
※夏休み、冬休みなど変更あり

キャリア支援サイトを活用しよう

「キャリア支援ユニット」では、熊大生のためのキャリア支援サイトを開設中！ 学内の支援イベント情報や求人情報、OB・OGメッセージなど内容も盛りだくさんです。



<http://uportal.kumamoto-u.ac.jp/>

熊大OB・OGキャリアメッセージ

300名を超える卒業生によるメッセージ集。「どこで」「どんな仕事を」「どんな想いで」取り組んでいるかが分かります。卒業年・勤務先・業種などで検索も可能。先輩たちのリアルな仕事観は、あなたの今後のキャリアを考える参考になるはず！

就職活動体験記 Check!

先輩たちの就活がどのように行われたか、どのようにして内定を勝ち取ったか、就活のヒントがいっぱい！

インターンシップ関連情報 Check!

学内に届いているインターンシップ情報や先輩のインターンシップ活動記。

求人情報検索 Check!

「キャリア支援ユニット」に届いた求人情報の一部が検索できます。詳細情報は、「キャリア支援ユニット」オフィスに設置している企業ファイルで確認を。

キャリア教育

キャリア科目(教養選択科目)

将来の進路をより広い視点で考えることができるよう、教養選択科目を開講。
1年次・2年次で開講しています。

熊大ビジネス講座

企業活動や企業人としての生き方に興味のある人は誰でも参加OK! 産業界の最前線で活躍中の経営者やビジネスリーダーを招いて講演会を行っています。

熊大ビジネス講座

インターンシップ(就業体験制度)

各学部インターンシップのフォローや外部主催(経営者協会など)インターンシップの学内窓口、公募型インターンシップの情報提供など、インターンシップ全般に対する学内サポートを実施しています。

1年次

2年次

ここから始まる“自分軸”づくり

自分の魅力を見つけよう

これから始まる就職活動は、“自分探しの旅”だといえるのではないのでしょうか。「自分の魅力って何だろう?」これまでの人生を振り返ってみてください。今日までどんな出来事があった、何を感じ、何に影響を受けてきたのか。歩んできた道をたどることで、あなただけの魅力を発見できるはずです。

キャリアデザインセミナー

就活を終えた4年生・院生から後輩へ、自分たちが身に付けた就活の知識やノウハウを伝えることを目的としたイベント。学生サークルと共催で実施しています。

マナーを身に付けよう

マナーとは何でしょうか?辞書を引くと「礼儀」「態度」「行儀」といった意味があります。社会人としての基本的なマナーを身につけて実践すれば、就職活動の際、あなたの印象も大きく変わりますし、のびのびと自分を表現することができます。マナーを考え、身に付け、実践してみてください。

就職支援

Think about
your future.

キャリア支援サイト

学生なら誰でも閲覧できる、就職活動を支援するサイト。
イベントや求人情報、卒業生のキャリアメッセージなど
内容も盛りだくさんです。

<http://uportal.kumamoto-u.ac.jp/>

熊大ビジネス講座

熊大ビジネス講座

企業・職業のことを勉強しよう

初めて経験する就職活動。企業や職種について分からないことも多いはず。事前に企業研究を行うことが大切です。希望する企業にどんな業種・職種があり、どんな仕事をするのか。そしてそれが自分に合っているのかどうか。志望企業を絞り込むために必要な基礎知識も含め、多くの情報を集めてみましょう。

3年次

4年次

本学では、1年次から「生き方」や「仕事」を考えるキャリア科目(教養選択科目)を開講しています。毎年5月には、基礎セミナーの中で学部1年生を中心とした「キャリアガイダンス」も実施。3年次からは就職活動をサポートするための講座や企業説明会を行っています。

進路・就職相談

民間の就職情報会社出身の課長をはじめ、4人の職員が進路や就職の相談に乗っています。「何から始めたらいいかわからない」という人も、もちろん大歓迎!

ワークデザイン講座

仕事を切り口にした、30代の卒業生による仕事研究座談会などを実施。さまざまな仕事に就いている先輩たちの本音の語り、学生たちの仕事観を広げる機会となっています。

業界説明会・学内企業説明会

日本を代表する大手企業や九州内の優良企業など約100社が、本学内で説明会を開催します。学校にしながら、業界・企業研究を効率よく行うことができます。

就職講座

本格的な就活スキルなどを伝える講座です。職業適性診断テストを使った自己分析やエントリーシート対策、面接対策などを行っています。また、公務員や教員試験対策講座なども実施しています。

本格的な就職活動 アプローチを開始しよう

企業の方へ電話をかけたり、資料請求をしたりすることは勇気がいります。しかし、気後れすることはありません。不安もあるでしょうが、前進あるのみです。あなたはどんな人なのか。このアプローチは、企業へ向けた自己アピールの第一歩です。

学部卒業生の進路DATA

学部卒業生の就職・進学状況データ(平成22年5月1日付)を見てみると、全体的にかなりの数の卒業生が大学院へ進学していることが分かります。特に理学部・薬学部・工学部では、半数以上が進学しています。理系の学部には、さらに研究を続けようとする学生が多いようです。

熊大卒業生の就職・進学状況(平成22年5月1日付) 単位:人

		文学部		教育学部		法学部		理学部		医学部		薬学部		工学部	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
卒業生数		62	123	121	169	107	94	131	57	98	151	28	12	513	76
進学者数		6	11	26	32	10	9	90	25	8	3	25	11	323	41
就職者数		39	86	73	107	69	64	29	29	33	115	0	1	152	28
産業別分類	農・林・漁業・鉱業・建設業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	29	9
	製造業	8	7	2	5	9	1	4	5	0	0	0	0	54	7
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	1	0	0	3	2	0	1	0	0	0	0	7	0
	情報通信業・運輸業	2	12	3	1	8	4	3	6	0	1	0	0	31	1
	卸売業・小売業	4	8	4	4	6	4	0	1	1	0	0	0	4	1
	金融業・保険業	6	24	4	12	11	8	1	5	0	0	0	0	5	1
	不動産・飲食・宿泊業	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	医療・福祉	2	2	1	6	1	0	0	3	27	101	0	0	1	0
	教育、学習支援業	5	8	38	65	0	2	9	1	0	0	0	0	2	2
	サービス業	1	6	3	3	2	4	7	4	0	0	0	0	6	5
	公務	9	14	18	10	27	38	3	3	5	13	0	1	13	0
	その他	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
地域別分類	県内	14	22	47	63	11	21	7	12	13	60	0	0	27	10
	九州	10	42	17	32	36	38	15	7	15	48	0	1	56	6
	関西	0	5	0	1	1	0	1	3	1	2	0	0	18	2
	東海	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	7	0
	関東	13	13	7	9	17	3	2	7	2	5	0	0	40	9
	その他	1	4	2	2	2	2	3	0	1	0	0	0	4	1

主な就職先

国家公務員、地方公務員、国立大学職員、私立学校教員、RKKコンピューターサービス、旭化成アミダス、朝日生命保険、アサヒビール、アステラス製薬、イサハヤ電子、イノス、英進館、エスケーホーム、NTTコミュニケーションズ、NTTコムウェア、NTTデータ、NTTドコモ、NTT西日本、NTTネオメイト、大分キャンノ、大分銀行、岡野バルブ製造、沖縄電力、小野薬品工業、オムロプリント、オンワード樺山、化学及血清療法研究所、科研製薬、鹿児島銀行、鹿児島建設、鹿児島道路、関西電力、かんぽ生命、かんぽ生命保険、キッセイ薬品工業、キャンノ、九州産業交通ホールディングス、九州電力、九州旅客鉄道、九州労働金庫、九電工、霧島酒造、近代経営研究所、熊本県信用保証協会、熊本県赤十字血液センター、熊本信用金庫、熊本中央信用金庫、熊本ファミリー銀行、熊本リハビリテーション病院、KDDI、国際紙パルプ商事、国土地質調査事務所、金剛、西部ガス、佐世保造船、三洋電機、ジーエス・ユアサコーポレーション、ジーシー、JA福岡市、システムクレオ、ジャパネットたかた、十八銀行、生活協同組合コープみやざき、セイコーエプソン、青年海外協力隊、西部電気工業、ゼンリン、全労済、総合メディカル、ソニーリージョナルセールス、損害保険ジャパン、第一生命保険、大成建設、大日本印刷、大日本印刷西日本、大鵬薬品工業、高砂熱学工業、高野病院、武田薬品工業、タマホーム、筑邦銀行、中部電力、テレビ宮崎、テンガイ、電盛社、東京エレクトロン九州、東京海上日動火災保険、東京計器、東京電力、東芝、同仁グローカル、戸田建設、トヨタ車体研究所、トヨタデジタルクルーズ、長崎県市町村職員共済組合、長崎放送、ナトーコンピュータ、西鉄旅行、西日本システム建設、西日本シティ銀行、日本軽金属、日本光電工業、日本生命、日本赤十字社熊本健康管理センター、日本たばこ産業、日本道路、日本放送協会(NHK)、野村證券、パナソニックシステムソリューションズ、阪和興業、肥後銀行、日立コンシューマ・マーケティング、日立システム九州、日立造船、日立ソフトウェアエンジニアリング、日立プラントテクノロジー、日之出水道機器、ファミリーマート、福岡空港ビルディング、福岡大学、富士通、富士通エフ・アイ・ビー、富士通九州システムズ、富士通九州ネットワークテクノロジー、富士通テン、富士ビー・エス、ベネッセコーポレーション、本田技研工業、マックスバリュ九州、三浦工業、みずほ証券、三井住友海上火災保険、三井造船、三菱UFJリース、三菱化学物流、三菱重工業、三菱電機、宮崎ガス、宮崎銀行、宮崎県公立学校教員、明治安田生命、やすや、ヤマザキマザック、ヤマダ電機、大和ハウス工業、ヤマハ音楽振興会、ゆうちょ銀行、郵便局、楽天、リンナイ、ロッテ、ワークスアプリケーションズ 他

(五十音順)

Think about
your future.

生きるということは、行動すること

その前に、そもそも、人が生きるということは、どういうことなのでしょう。それは**行動する**（行為する）ということなのです。授業を受けること、レポートを作成すること、カラオケで歌うこと、旅行のチケットを手配すること、実験すること、卒業論文（研究）に取り組むこと、インターネットをすることなど。どれも行動するということです。もちろん**就活**することも。

行動の時間単位

このような行動は、一定の**区切りを持った時間**の中で行われます。時間の単位は数秒、数時間、数日、数週間、数カ月、数年などいろいろ。時間は万人に平等に与えられています。時間の単位は自分で決めることができる場合もあるし、外部的に決められることもあります。

行動の3つの要素

そのいずれにせよ、大切なのは次の3つのこと（要素）です。

1. 「状況認識」すること
2. 自分の「目標」を立てること
3. 目標達成の「効果的な手段」を選択すること

これを常に意識しながら行動することは、変化する世界でくじけず、たくましく状況に適応しながら**職業人**として生き抜くための鉄則です。ちなみに、この鉄則は「生きる」ことのすべてに通じています。

この鉄則を数年あるいは数カ月の時間単位で取り組む**就活**に当てはめれば、まず就職氷河期という状況とその背景について知り（状況認識）、例えばやりたくない特定の仕事に就くという目標を設定し、これを達成するために各種の情報を収集し、実践的語学力を磨くなどの手段を吟味・選択する、というような行動をとることになります。その他いろいろな時間単位で目標を設定し、試みてみよう。その際、手帳は必須ツールです。

column

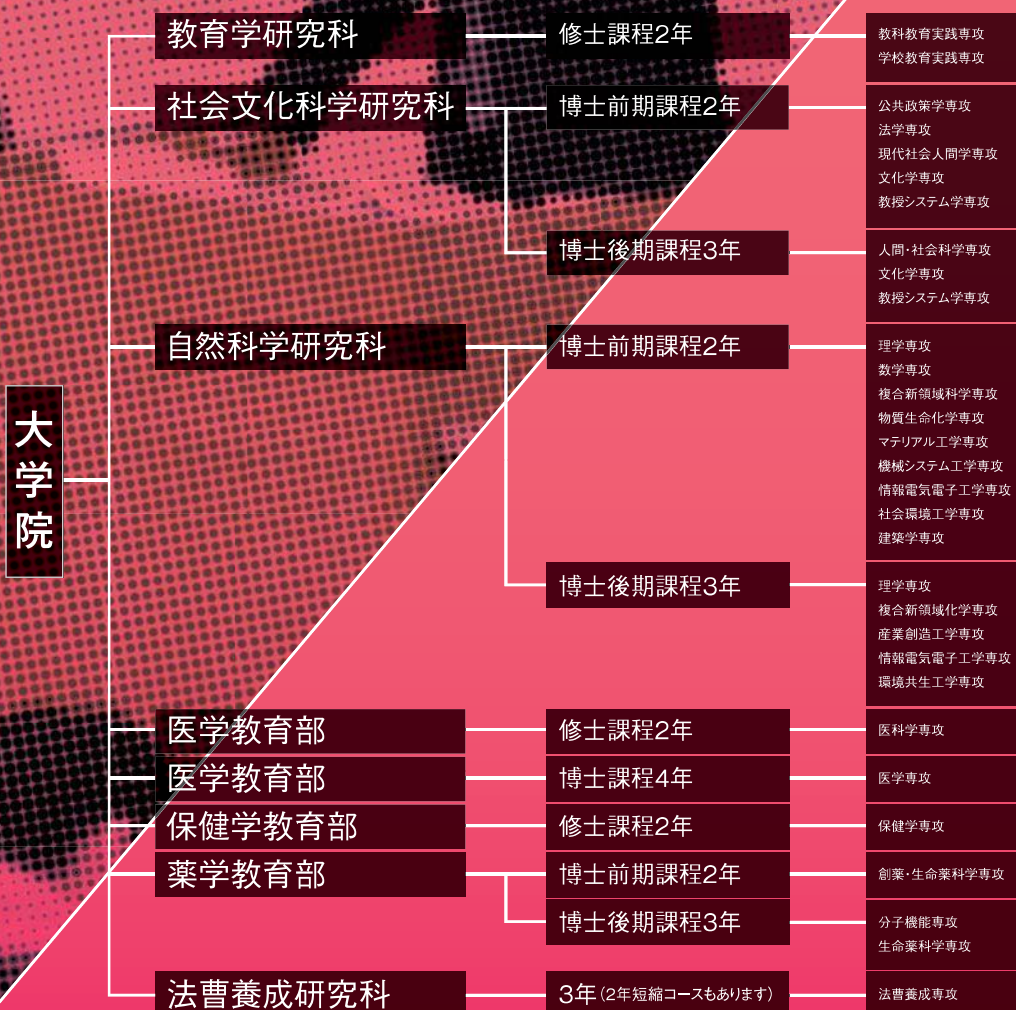
「時間と行動」

「大学院で学ぶ」 という選択

学生の進路は人さまざまです。医師、薬剤師、看護師、教員のように、特定の資格試験を受けて専門的・技術的職業に就く人もいれば、民間企業や官公庁に就職する人もいます。

これとは別に、学部4年(または6年)で卒業してから大学院に進学する人も大勢います。自分が卒業した大学の大学院に進学する人が大半を占めますが、中には他大学の大学院へ進む人もいます。他大学の卒業者が本学の大学院を受験するケースもあります。例えば、「法曹養成研究科」の受験者にはそのような人が少なくありません。

そして大学院の修士課程(博士前期課程)を修了してから就職する人もいれば、大学のような教育研究機関や民間企業の研究機関等の研究者を目指して、さらに大学院の博士課程(博士後期課程)に進学する人もいます。



大学院修了生の進路DATA

Think about
your future.

大学院卒業後はほとんどの院生が就職していますが、理系分野が集約された
自然科学研究科と薬学教育部では、博士後期課程へ進学する人も多いのが特徴です。

熊大 大学院修了生の就職・進学状況(平成22年5月1日付) 単位:人

		文学研究科		教育学研究科		法学研究科		社会文化科学研究科		医学教育部		保健学教育部		薬学教育部		自然科学研究科	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
卒業者数		4	4	23	28	1	1	43	28	9	12	10	9	47	32	358	59
進学者数		1	0	0	0	0	0	6	1	2	3	2	1	13	1	31	5
就職者数		2	4	19	25	1	0	29	17	5	8	8	7	32	30	310	44
産業別分類	農・林・漁業・鉱業・建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	4
	製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	3	191	19
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
	情報通信業・運輸業	1	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	26	3
	卸売業・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	8	4	1
	金融業・保険業	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	不動産・飲食・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	医療、福祉	0	1	0	1	0	0	2	1	2	2	8	4	7	16	0	0
	教育、学習支援業	0	1	18	18	0	0	7	8	1	2	0	2	2	0	4	3
	サービス業	0	1	0	0	0	0	9	2	0	3	0	0	1	1	18	7
	公務	1	1	1	4	1	0	7	4	0	0	0	1	5	2	11	4
	その他	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域別分類	県内	1	4	18	15	1	0	9	9	1	3	4	4	15	9	26	5
	九州	1	0	1	7	0	0	9	4	1	1	2	2	7	13	65	9
	関西	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	1	1	3	1	40	7
	東海	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	16	2
	関東	0	0	0	1	0	0	5	1	1	1	1	0	6	4	148	19
	その他	0	0	0	2	0	0	5	1	1	1	0	0	0	2	15	2

主な就職先

地方公務員、私立学校教員、IHI、アサヒビール、味の素、NTTドコモ、大分放送、大林組、オムロン、花王、化学及血清療法研究所、川崎重工業、九州電力、九電工、熊本日日新聞社、栗田工業、清水建設、シャープ、ジーエス・ユアサコーポレーション、新日鐵化学、新日本製鐵、新日本石油、住商情報システム、スズキ、住友金属工業、セイコーエプソン、太平洋セメント、ダイキン工業、大日本印刷、ダイハツ九州、大和ハウス工業、中外製薬、テレビ熊本、デンソー、東京エレクトロン九州、東芝、トステム、凸版印刷、トヨタ自動車、トヨタ自動車九州、豊田中央研究所、TOTO、DOWAホールディングス、日揮、日東電工、ニコン、西日本高速道路、NIPPO、日本製紙、日本テキサス・インスツルメンツ、日本郵政、パナソニック、久光製薬、日立金属、日立製作所、日立ハイテクノロジーズ、プリヂストン、富士通、富士電機、富士電機システムズ、本田技研工業、三井造船、三菱重工業、三菱電機、村田製作所、明電舎、ヤンマー 他

(五十音順)

熊本大学の歴史

SINCE 1949

熊大が、熊本県民の熱い思いから生まれて62年。先人たちはその歴史の一コマコマを刻んできました。そして今も変わることなくキャンパスには学生の元気な声があふれ、世界をリードする研究が行われ、さらに地域とともに歩む姿があります。

(写真提供：熊本大学60年史編纂室)

1949.9



開学記念式。最前列、右から4番目には初代学長の姿が

【熊本県挙げての熊大誘致運動】

本学は昭和24(1949)年5月に文部省の設置認可を受け、9月に第1回入学式を行った。法学部、教育学部、理学部、医学部、薬学部、工学部の6学部の入学生は男子1,037人、女子63人。約2倍の入学試験に合格した学生だった。

戦後、1府県に1つの新制国立大学が置かれることになった。同22(1947)年、熊本県でも県を中心に熊本市などの市町村、熊本県商工会議所、国会議員、マスコミ、銀行、労働組合、文化団体、県内の各中学校や女学校、そして熊本医科大学、熊本工業専門学校、熊本薬学専門学校、第五高等学校などオール熊本という体制で熊本総合大学期成会を結成して、誘致運動が行われた。また、医科大学などの学生は街頭に出て署名活動などを積極的に行った。新制国立大学実施要綱では「現にある学校の組織施設を基本として編成する」とされており、県内から要望の強かった農学部は設置されなかった。

敗戦後間もないとあって財政的な基盤を欠いていた文部省は、大学創設に必要な一切の費用を地元負担にしていた。期成会では募金で集めることにし、県や各市町村、在学生や卒業生、各種団体などに呼び掛けたり、割り当てを行ったりした。熊大の開校から同36(1961)年の期成会解散までの募金額は実に総額1億5,000万円。この中にはハワイ・ホノルル県人会など海外移民からの511万円ありも含まれている。

昭和24(1949)年9月1日
第1回入学式を実施

昭和25(1950)年1月
五高最後の卒業式

昭和27(1952)年6月
天草・松島に
臨海実験所を開設

昭和28(1953)年6月
熊本市など豪雨。
熊本大学にも大きな被害

昭和29(1954)年7月
東光原に
学生ホールが完成

昭和34(1959)年4月
学長選挙が紛糾

【学生6人が犠牲となった6・26大水害】

昭和28(1953)年6月25日から26日にかけて、九州中部は熊本測候所始まって以来の豪雨に襲われ、死者行方不明1,028人あまり、被災者38万人、被害住宅9万7千戸という大惨事となった。阿蘇の降雨量は950ミリ。熊本市内の真ん中を流れる白川が氾濫し、ばうだいな火山灰を含んだ土砂で市内は泥の海となった。白川流域にある黒髪・本荘キャンパス、それに学生や教職員が多く住んでいた黒髪地区などにも大きな被害が出た。

本学では工学部講堂や本館を避難場所として開放。工学部裏手の白川から濁流があふれ、さらに一夜で決壊したため、黒髪や子飼や薬園町の死者行方不明は200人あまりにも上った。27日、熊本大学災害対策本部を設置し、まず被害の調査が行われた。被害額は工学部8,000万円、附属病院5,000万円など、総額で1億8,000万円にも上り、学生の死者行方不明は6人。この中には人命救助中に自らの命を失った学生もいる。負傷者は9人。学生の31%にあたる1,232人が被害を受けた。教職員の家族の死者行方不明は8人で、教職員家族の41%にあたる555人が被災した。

こうした大災害の中、市民の救助や被災者の収容などに夜を徹して行った学生も多かった。水害翌日からは大学の各教室などの排土・清掃作業、地域の復旧作業にあたり、医学生や看護学生は日赤の学生奉仕団に加わって救護活動や市内の避難所の巡回などを行った。

1953.2



水と共に、大量の土砂が流入。排土作業に追われた

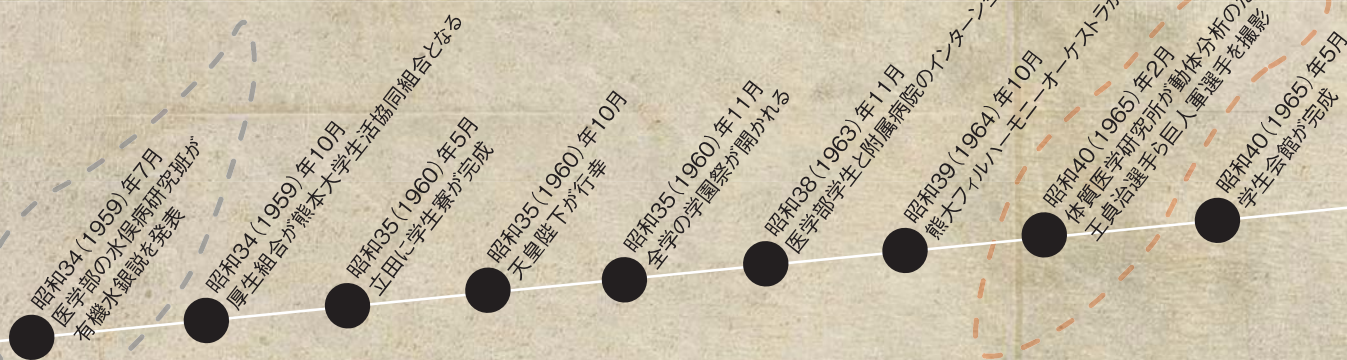
【水俣病の原因物質を突き止めた! 附属病院の精鋭たち】

昭和31(1956)年6月、附属病院の勝木司馬之助院長は、水俣の新日窒水俣工場附属病院の細川一院長から水俣地方に神経疾患が多発していることを告げられた。勝木院長らは極めて特異な中枢神経疾患であることを確認。医学部や病院を挙げて医学研究班を組織し、原因の究明を行うことになった。診察・治療を行う一方、発生地

の海水や泥土、魚介類などを調査した。

その結果、「ある種の重金属中毒が疑われ、水俣湾産の魚介類の摂取によって起こるものである」という中間報告が、その年の11月に行われた。翌年、薬学部などの研究者も含めた新たな研究班を結成。マンガン、セレン、水銀などが調べられ、次第に水銀に的が絞られた。同34(1959)年に「水銀が極めて注目される」という統一見解を発表。同36(1961)年9月にローマで開かれた国際神経学会で徳臣晴比古、武内忠男、内田楨男教授らが「水俣病の原因物質はメチル水銀化合物」と発表。さらに入鹿山且朗教授が新日窒水俣工場内のアセトアルデヒド製造過程でメチル塩化水銀が作られることを突き止めた。

43年に水俣病はわが国で初めて公害病と認定された。水俣病は公害問題の原点として多くの教訓を残すと同時に、現在進行形の問題として診断や治療、研究、政治や行政、社会問題などの面からさまざまなアプローチが続けられている。また、水銀による健康被害は世界的な問題となっており、水俣病の研究などがその解決に生かされている。



1953.2



白川に架かる橋はことごとく流失。多くの人命が失われた

【熊大に王貞治がやってきた!】

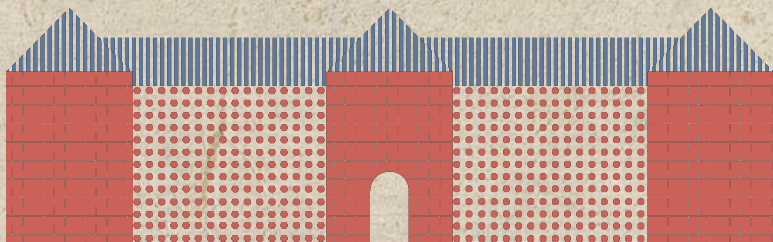
昭和40(1965)年、旧体質医学研究所の沢田芳男教授は巨人軍の王貞治、長嶋茂雄、金田正一選手らのバッティングやピッチングを高速カメラで撮影。「1本足打法」で知られる王選手は、体の中心よりずいぶん前でボールをとらえて打っていることなどを明らかにした。

沢田教授は野球をはじめゴルフやバドミントン、陸上競技などの一流の選手の動きを高速カメラで撮影し、体力や体格と技術面との関係を分析してきた。

1965.2



高速カメラで撮った映像を見る王選手ら
(提供: 熊本日日新聞社)



1969.5



工学部に築かれたバリケード

【学園紛争で機動隊導入】

昭和35(1960)年代、大学生の政治への関心が高まってきたことなどを背景に、世界中の大学で学園紛争が頻発した。日本も例外ではなく、東京大学をはじめ多くの大学で紛争が起きた。同40(1965)年、本学の400人の学生が市営バス料金値上げ反対のデモ行進を行い、同43(1968)年には米原子力航空母艦エンタープライズの佐世保港入港阻止を叫んで本学学生もデモに参加した。学内でも学生寮の給食職員の公務員化問題、医学部学生らの医局改善要求の運動などが起きた。

紛争が激化するのは同43(1968)年末ごろ。前年に設立された熊本大学生協同組合の水道光熱費の大学負担を求める動きなどが発端。受益者負担の原則を主張する大学側との交渉は12月20日の第1回学長交渉から紛糾し、翌年1月28日の第3回交渉でも解決しなかった。大学側に不信感を募らせた学生は、2月1日の教養部を手始めに法文学部、工学部、薬学部、教育学部が3月までにストライキ(授業ボイコット)に突入。ストを背景に公開交渉などで要求実現を迫った。この間、公開交渉などの席上、学長ら大学幹部が疲労などで次々ドクターストップとなるという異常事態となった。3月の卒業式は中止となり、入学式ができないまま新入生は自宅待機となった。

4月になると本部建物が学生から封鎖され、5月8日に始まった工学部長との交渉で学生側は教官の退出を阻止するために工学部本館を封鎖。教官が軟禁状態となったため、大学側は10日午前2時に県警機動隊の出動を要請。午前4時前、750人の機動隊が教官を救出し、本部建物の封鎖を解いた。機動隊の導入は学生や教官に大きな衝撃を与えた。17日には学生集会後に行われた市内デモで学生5人が公務執行妨害で逮捕された。29日、スト解除の動きに反対する学生が工学部1号館を封鎖。7月4日には再び県警機動隊が導入され、投石と催涙弾の応酬の中で封鎖が解除され、9人の学生が逮捕された。

教職員による事態収拾への動きが本格化し、7月7日の薬学部に続いて各学部でも授業再開。8月下旬の教養部の授業再開で学内は一応の平常に戻った。退学5人(うち工学部4人)、停学8人(同4人)、戒告6人(同1人)の学生処分が行われ、生協問題は法廷で争われることになった。

昭和41(1966)年4月
女子学生への差別発言

昭和43(1968)年12月
医学部で統一集会、生協の水道光熱費の
大学負担を求めて公開交渉

昭和44(1969)年1月
学生が生協の定食値上げ阻止で
総決起集会

昭和44(1969)年2月
教養部、法文学部、
工学部がスト突入

昭和44(1969)年3月
薬学部、教育学部が
スト突入、紛争で
卒業式が中止

昭和44(1969)年4月
学生が本部を封鎖

昭和44(1969)年5月
工学部で教授監禁、1号館封鎖。
初めて機動隊導入

昭和44(1969)年7月
機動隊による封鎖解除、教育学部など
相次いで授業再開、
五高本館などが重要文化財に指定



機動隊によって封鎖を解除された工学部

昭和46(1971)年1月
黒髪北地区食堂竣工

昭和48(1973)年3月
付属図書館が落成

昭和49(1974)年4月
薬学部附属薬用植物園を設置

昭和50(1975)年9月
工学部講堂を解体

昭和51(1976)年9月
肥後医局記念館が完成

昭和54(1979)年7月
法文学部を
法学部と文学部に分離

昭和59(1984)年
この年、熊本グループによる
エイズ研究開始

昭和60(1985)年3月
熊本市議会で、星子市長が
大学移転に反対表明



昭和62(1987)年3月
受験日程がA日程、B日程に分けられ、実施

昭和62(1987)年10月
五高開校百周年式典

昭和63(1988)年3月
米モンタナ州立大学と
学生交流の協定書締結



学園祭の伝統は、現在も学生に受け継がれている

2000.11

平成15(2003)年7月
学内無線LANシステム
の運用開始

平成14(2002)年4月
オンライン授業での
単位取得が認められる

平成13(2001)年4月
英語学習支援システム(CALL)
が導入される

平成11(1999)年12月
熊本大学校旗が
制定される

平成16(2004)年2月
工学部百周年記念館が完成

平成16(2004)年4月
国立大学法人熊本大学が発足

平成17(2005)年5月
熊本市南坪井に「まちなか工房」がオープン

平成18(2006)年4月
社会文化科学研究科に
全国初のeラーニング大学院を設置

平成20(2008)年5月
附属図書館が「東光原文学賞」を創設

平成21(2009)年1月
熊大生協が国立大学では
初めて社会貢献運動
「TABLE FOR TWO」に参加

【開学と同時に始まった学園祭】

学園祭は昭和25(1950)年にさかのぼる。開学記念行事の一つとして熊本医科大学で文化祭が開かれた。その後、薬学部が薬品展などを開き、10年後、全学の学園祭に発展した。同41(1966)年に熊大祭に改称。同44(1969)年の学園紛争後、学生側が「黒髪祭」を開催したいと申し入れたが、実行委員会に大学側が認めていない団体などが入っているとして、正式行事として認めなかった。学生は翌年から「黒髪祭(こくはつさい)」と呼び、自主的な催しとして毎年開催してきた。同53(1978)年、大学側と学生側が話しあった結果、11月に大学の正式な行事として「黒髪祭」が行われることになった。平成5(1993)年に15回続いた「黒髪祭」は終了。翌年から「熊粋祭」として開催している。

学園祭のイベントは学生の文化活動の紹介、スポーツイベント、社会的な問題をテーマとしたシンポジウムや講演会、人気タレントショー、バザーなどさまざまな催しが、いずれも学生の自主運営。なかでも「阿蘇耐久遠歩」は半世紀近い歴史を誇る伝統行事となっている。また、医学展、薬学展も同時期に開催している。

1994.10



伝統の学園祭が、「熊粋祭」として新たなスタートを切る

平成8(1996)年
この年から学生による
授業評価制度を導入

平成8(1996)年4月
教養部建物内が
全面禁煙となる

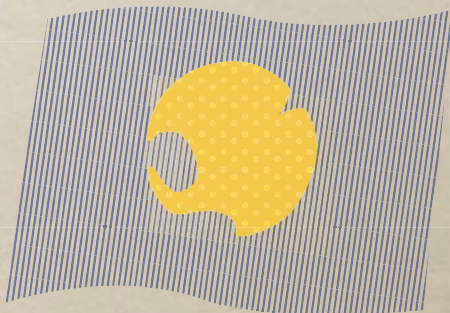
平成6(1994)年10~11月
第1回熊粋祭を開催

平成4(1992)年11月
キャンパス・グリーン・デー開催

平成4(1992)年9月
学内献血が1万人を突破

平成3(1991)年9月
五高本館を初めて一般公開

平成2(1990)年1月
第1回大学入試センター試験



熊本大学の沿革

歴史をルートマップ的にたどると、その複雑な沿革が分かりやすい。
医学部は熊本県立医科大をルーツとし、法、文、理学部は旧制五高、
工学部は熊本工業専門学校、教育学部は熊本県師範学校、
そして薬学部は熊本薬学専門学校の流れを受け継ぐ。



KUMADAI DATA

熊本大学のいろんなデータをまとめてご紹介します。

01 熊本の歴史に名を残す これまでの学長たち。



初代学長 鰐淵 健之
わにぶち けんし

明治27(1894)年～平成元(1989)年。福井県生まれ。東京大学医学部卒。昭和2年(1927)年、熊本医科大学の山崎正董学長に招かれて教授に就任。新制熊本大学の発足に努力し、学内外の支援を受けて同25(1950)年に初代学長に就任した。発足したばかりの大学の整備拡充を行い、同時に熊本の教育や文化の振興に努めた。熊本県近代文化功労者。

歴代学長一覧

	氏 名	就任年月日
事務取扱	鰐淵 健之	昭和24(1949)年 5月31日
初代	鰐淵 健之	昭和25(1950)年 1月18日
2代	本田 弘人	昭和34(1959)年 5月26日
3代	柳本 武	昭和40(1965)年 5月26日
事務取扱	荒木 雄喜	昭和44(1969)年 2月12日
事務取扱	忽那 将愛	昭和44(1969)年 4月 5日
4代	六反田藤吉	昭和44(1969)年10月17日
事務取扱	黒田 正巳	昭和45(1970)年 8月31日
5代	黒田 正巳	昭和45(1970)年11月20日
6代	岳中 典男	昭和49(1974)年11月20日
7代	松山 公一	昭和55(1980)年11月20日
8代	松角 康彦	昭和61(1986)年11月20日
9代	森野 能昌	平成 2(1990)年11月20日
10代	江口 吾郎	平成 8(1996)年11月20日
11代	崎元 達郎	平成14(2002)年11月20日
法人化初代	崎元 達郎	平成16(2004)年 4月 1日
12代	谷口 功	平成21(2009)年 4月 1日

02 熊大生でなくても遠慮は無用！ 開かれた大学の「附属図書館」。

附属図書館は、中央館・医学系分館・薬学部分館で構成され、それぞれのキャンパスにおける教育研究活動を支援する情報基盤の一つとして活動しています。

ネットワークを通じて利用できる電子図書館のサービス(各種情報検索、電子ジャーナル、図書発注、文献複写依頼など)の提供など、いつでも利用できる図書館です。

また、開かれた大学の図書館として、一般市民への貸し出し、蔵書目録のインターネットへの公開など、地域社会に対する学術情報提供の拠点としても機能しています。

■貴重資料

阿蘇家文書(国指定重要文化財)

阿蘇家旧蔵の中世以降の古文書類

細川家北岡文庫(永青文庫)

肥後藩政に関する資料

松井文庫

旧松井男爵家旧蔵の古文書典籍類

八雲文庫

小泉八雲に関する作品・伝記・評論の集積

横井小楠文書

横井小楠に関係する古文書・古記録類

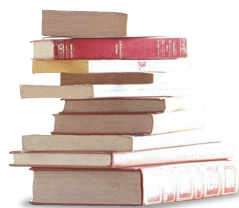


図 書 1,291,576 冊
雑 誌 20,671 種類
入館者数 540,566 人
貸出冊数 65,611 冊

■全国共同利用大型資料(人文・社会科学系)

英国議会資料 IPU BLUE BOOKS. 1,000Vols.

19世紀英国議会報告書の中から、主要な社会・政治的資料を1,000巻にまとめたもの

民国二十年代中国大陆土地問題資料

1932年に国民政府によって中央政治学校内に設置された地政学院の研究生が2年にわたって行った実地調査の報告書(全200冊)

ほか4コレクション

03 大学の保健室、「保健センター」は 黒髪北キャンパス 図書館の隣です。

昭和48(1973)年に設置されて以来、学生・教職員の身体、精神上の健康の保持促進を図るため、定期・臨時の健康診断や健康相談、応急措置などを行っています。

【業務内容】

定期および臨時の健康診断、R1等取扱者の健康診断、健康相談、精神衛生相談、学生生活・教育相談、学業・進路相談、留学生相談、一般処置、スポーツクリニック、体育系サークル検診、保健センターだよりの発行および保健情報の提供

職員数		主な施設
所長(併)		診療室
専任教員(所長を含む)	3名	検査室
看護師	2名	休養室
学内医(併)	4名	相談室
カウンセラー	2名	

04 昔も今も学生たちが集う場所、 「学生会館」。

黒髪北キャンパスの学生会館(東光会館・サークル棟)は、学生の課外活動の発展と教養を高め福利厚生を充実を図ることを目的に、昭和41(1966)年に設立されました。会館には集会室、体育団体・文化団体連絡室、食品・書籍・文具売店(熊大生協)、プレイガイド、食堂などがあります。

東光会館棟		サークル棟
課外活動施設	福利厚生施設	課外活動施設
大集会室 1 部屋	食堂	体育会本部室 1 部屋
音楽室 1 部屋	厨房	文化部会室 1 部屋
集会室 5 部屋	購買	熊大生協本部室 1 部屋
和室 2 部屋	機械室	ミーティング室 2 部屋



イベントスペースとしても利用OK



05 普段使いや帰省のお土産にいかが？ 多彩な熊大グッズ。

各キャンパス内にある熊大生協売店では、一般的文房具や書籍の他、熊大オリジナルグッズも販売しています。品質とオリジナリティーにこだわった商品は、学内外で高い評価を得ています。



ステーショナリーも充実！



06 勉強も大切だけど、運動も大切だ。 設備充実の体育施設。

運動部が練習場として使ったり、学部スポーツ大会が開催されたり・・・スポーツ設備もキャンパスごとにいろいろそろっています。

黒髪地区		渡鹿（大江総合運動場）	
陸上競技場	1 面	野球場	1 面
ラグビー場	1 面	テニスコート	8 面
サッカー場	1 面	アーチェリー場	1 基
テニスコート	4 面	弓道場	1 棟
プール	50m	体育館	1 棟
体育館	2 棟	自動車練習場	1 面
体育器具庫	3 棟	合宿研修棟	1 棟
		体育器具庫	1 棟
本荘・九品寺		大江（薬学部）	
テニスコート	2 面	運動場	1 面
体育館		テニスコート	1 面
（武道場を含む）	1 棟	体育館	1 棟
三角（宇城市三角町）		広木（水前寺江津湖公園内）	
ヨット用艇庫	1 棟	漕艇用艇庫	1 棟
合宿所	1 棟		



07 安い・早い・うまい！ 学食へ行ってみよう！！



キャンパスごとに学食があって、毎日たくさんの学生が利用しています。特ににぎわうのは、黒髪南キャンパスにある「FORICO（フォリコ）」。おしゃれな学食はメニューも豊富です。焼き立てパンも人気！



黒髪地区(北)	大江
北地区食堂 1F	蕃滋館食堂
北地区 2F 喫茶・軽食	蕃滋館購買
黒髪地区(南)	本荘・九品寺
南地区食堂	楷樹会館食堂
南地区理髪所	楷樹会館購買
福利施設食堂	楷樹会館書籍
福利施設購買	



国立大学法人 熊本大学
<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

〒860-8555熊本県熊本市黒髪2-39-1 TEL.096-342-3119
編集／「熊大なう。」(熊大通信特別号)編集委員会 協力／熊大広告 KumAnd